

平成 18 年 (2006 年) 5 月

沖縄地方の天候

平成 18 年 6 月 2 日 沖縄気象台

天候経過	1
平均気温・降水量・日照時間 平年差 (比) と階級	2
大気の流れ	3
日々の天気図・気象概況	4 ~ 7
地上気象経過図 名護・那覇・久米島・南大東島 宮古島・石垣島・西表島・与那国島	8 ~ 9
アメダス (月平均気温・月降水量・月間日照時間) 分布図	10
極値・順位更新表 生物季節観測表	11

本件担当：沖縄気象台業務課気候・調査室
お問い合わせ先：098 - 833 - 2186

天 候 経 過

2006年5月

沖縄地方は、期間前半は高気圧の範囲内で晴れの日が多かったが、期間後半は梅雨前線が近海に停滞することが多く、曇りや雨の日が多かった。

また、平年より太平洋高気圧の勢力が強かったことから、沖縄地方の月平均気温は平年に比べて「かなり高い」となった。

気温：かなり高い

降水量：平年並

日照時間：少ない

上旬：高気圧の範囲内で晴れの日が多かったが、期間はじめと中頃に前線の影響で曇りや雨の日もあった。

1日から2日にかけては前線の影響を受け、2日間の降水量は金武で113mm、東で107mm、伊是名で94mm、国頭で91mmを観測した。

気温：かなり高い

降水量：少ない

日照時間：平年並

中旬：沖縄地方は5月14日ごろ梅雨入りしたとみられる。

期間はじめは高気圧の範囲内となり晴れの日もあったが、梅雨入り後の期間中頃からは梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

15日から16日にかけて、与那国島地方では梅雨前線の活動が活発化して大雨となり、2日間の降水量は与那国島で175.5mm、所野（与那国空港）で218mmを観測した。

気温：高い

降水量：平年並

日照時間：平年並

下旬：期間はじめは高気圧の範囲内で晴れの日もあったが、梅雨前線の影響を受けて曇りや雨の日が多く、多雨・寡照となった。

23日以降、沖縄近海に梅雨前線が停滞し活発化したため、23日は川平で115mm、伊原間で100mmの日降水量を観測した。25日は粟国（粟国空港）で日最大1時間降水量83mmの猛烈な雨となり、日降水量139mmを観測した。31日は渡嘉敷で137mm、糸数で99mm、慶良間（慶良間空港）で96mmの日降水量を観測するなど、各地点で降水を観測した。

気温：平年並

降水量：かなり多い

日照時間：少ない

2006年 5月

	氣 温 ()	平年差 ()	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 霸	24.8	+1.6	+	68.0	101	0	25.3	54	
久 米 島	25.1	+1.8		29.5	45	-	27.5	63	-
宮 古 島	25.5	+1.4		3.0	5		44.5	98	0
石 垣 島	26.5	+1.5	+	2.5	4		50.2	102	0
与那国島	26.3	+1.7		11.5	16	-	43.3	106	0
南大東島	24.0	+0.5	0	18.0	43	0	63.9	103	0
沖繩地方		+1.6			34%	-		85%	0

	氣 温 ()	平年差 ()	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 霸	25.7	+1.9		9.5	14	-	51.5	98	0
久 米 島	25.3	+1.5	+	16.5	22	-	42.0	84	0
宮 古 島	25.8	+1.1	+	18.5	32	0	54.0)	104	0
石 垣 島	26.8	+1.2	+	17.0	25	0	66.3	118	+
与那国島	25.7	+0.5	+	220.5	281		39.6	84	0
南大東島	26.0	+2.2		1.0	2		82.8	137	+
沖繩地方		+1.2	+		75%	0		98%	0

	気 温 ()	平年差 ()	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	24.1	-0.1	0	256.0	264		37.7	76	-
久 米 島	24.0	-0.2	0	233.0	188	+	31.7	69	-
宮 古 島	25.1	0.0	0	189.0	222		29.1	58	-
石 垣 島	26.3	+0.3	0	122.0	134	+	40.0	74	0
与那国島	25.5	0.0	0	190.5	243		36.8	83	-
南大東島	24.5	+0.3	0	120.5	135	+	41.9	73	-
沖縄地方		0.0	0		210%			72%	-

	気 温 ()	平年差 ()	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	24.8	+1.0	+	333.5	143	+	114.5	77	-
久 米 島	24.8	+1.0		279.0	105	0	101.2	72	-
宮 古 島	25.4	+0.8		210.5	101	0	127.6)	86	-
石 垣 島	26.5	+1.0		141.5	64	-	156.5	98	0
与那国島	25.8	+0.7		422.5	184		119.7	90	0
南大東島	24.8	+1.0		139.5	77	0	188.6	105	0
沖縄地方		+0.9			119%	0		85%	-

- 2

大気の流れ（北半球の天気図の概要）

2006 年 5 月

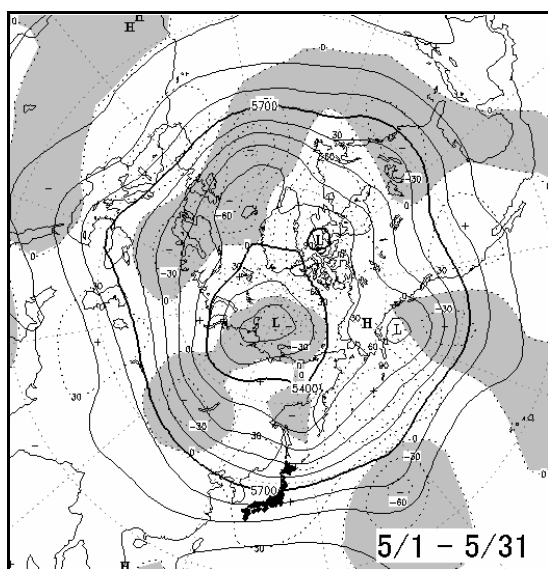
500hPa 面の高度（左図）は、極付近からモンゴルにかけてとオホーツク海付近で平年より低く、その他の極東域で平年より高くなった。

華北付近は気圧の谷となりやすく、上空の大気の流れは、沖縄地方で西南西から東北東の流れとなった。

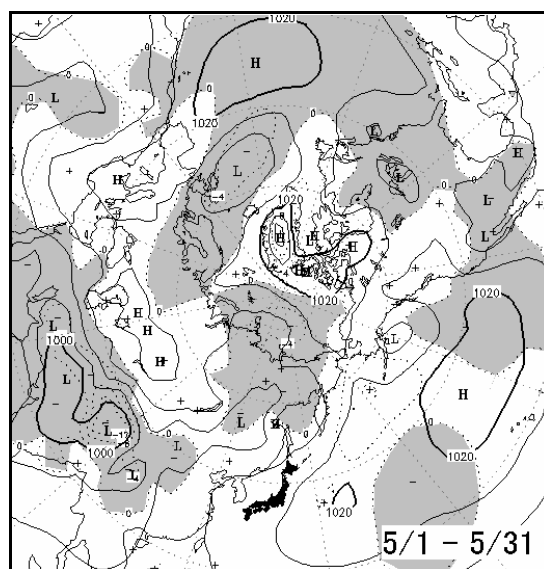
海面気圧（右図）では、本州南岸から華中にかけて気圧の谷となりやすかった。

沖縄地方では、期間後半に梅雨前線の影響を受けることが多かった。

中旬には台風第 1 号が南シナ海を北上し、東シナ海で温帯低気圧に変わった。



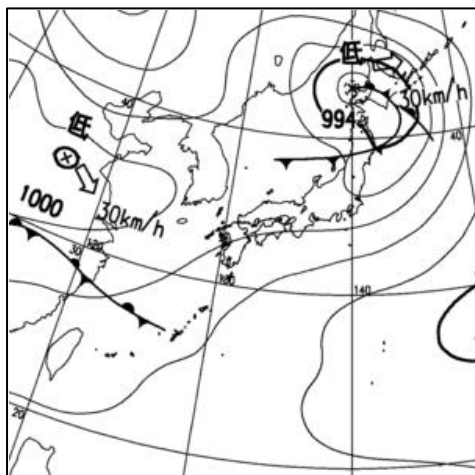
左図 北半球の 500hPa 面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が 60m、
平年差（破線）が 30m である。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。



右図 北半球の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が 4hPa、
平年差（破線）が 4hPa である。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

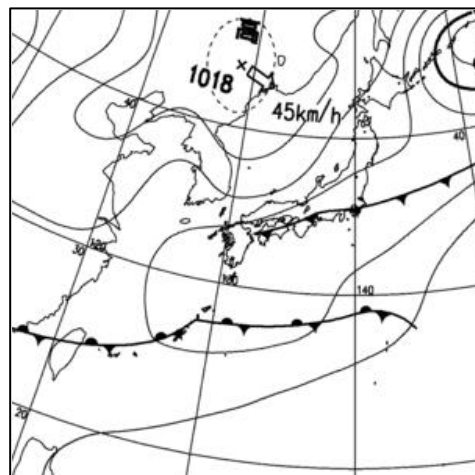
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2006年5月1日～5月8日



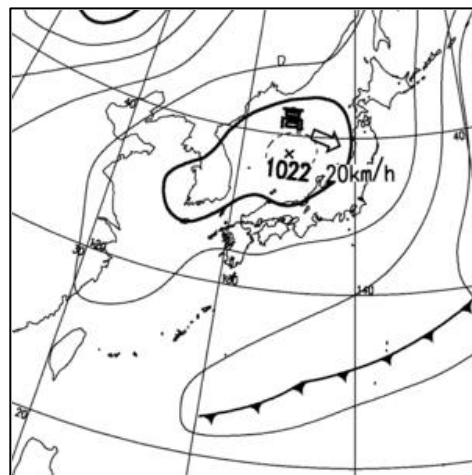
5月1日

前線の影響を受ける。与那国島地方は高気圧の範囲内となる。



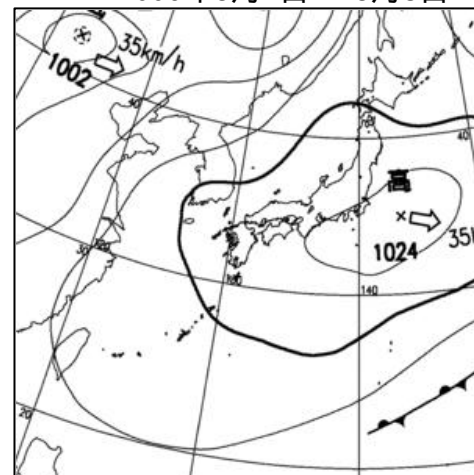
5月2日

前線の影響を受ける。



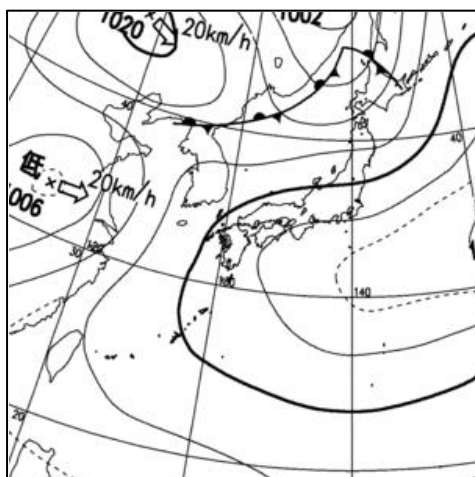
5月3日

高気圧の範囲内となる。先島諸島は高気圧のへりにあたる。



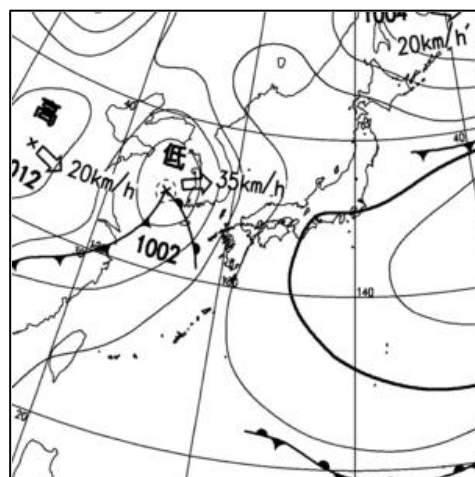
5月4日

高気圧の範囲内となる。先島諸島は高気圧のへりにあたる。



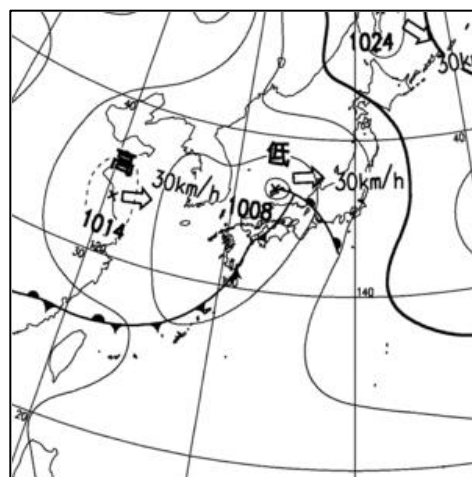
5月5日

高気圧の範囲内となる。八重山地方は高気圧のへりにあたる。



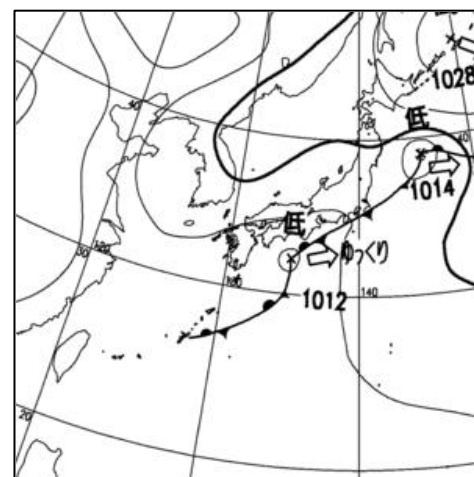
5月6日

高気圧のへりにあたる。大東島地方は高気圧の範囲内となる。



5月7日

前線の影響を受ける。

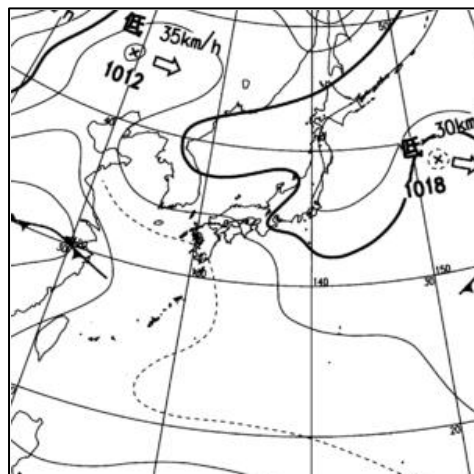


5月8日

高気圧の範囲内となる。沖縄本島地方、宮古島地方は前線の影響を受ける。

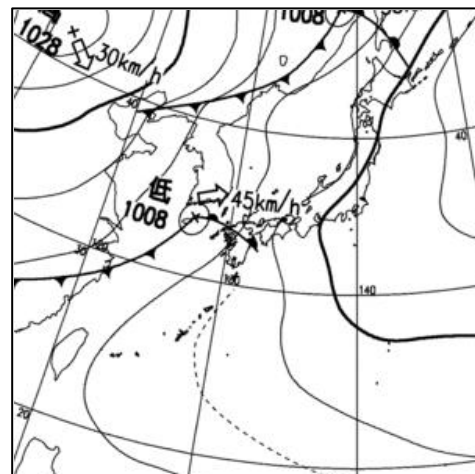
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2006年5月9日～5月16日



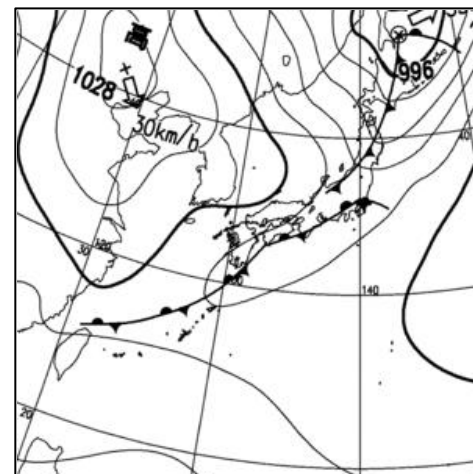
5月9日

高気圧の範囲内となる。沖縄本島地方は気圧の谷の影響を受ける。



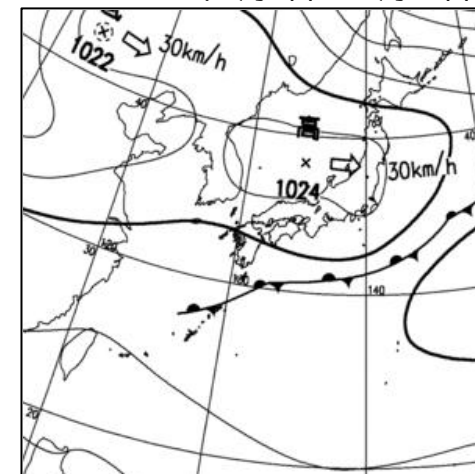
5月10日

高気圧の範囲内となる。沖縄本島地方は気圧の谷の影響を受ける。



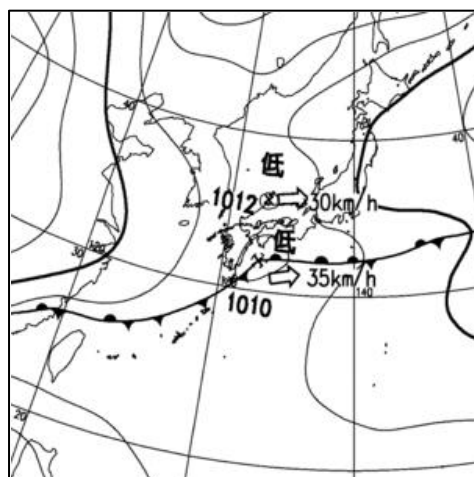
5月11日

高気圧の範囲内となる。与那国島地方は気圧の谷の影響を受ける。



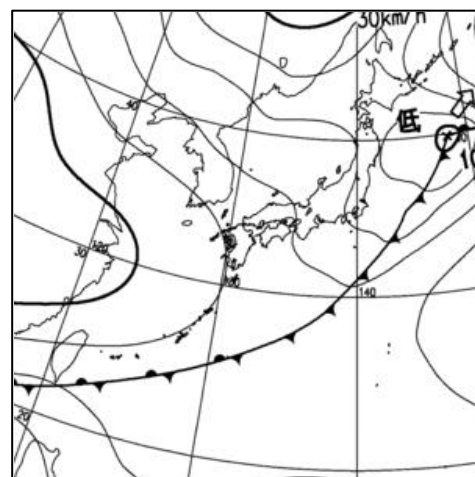
5月12日

高気圧の範囲内となる。沖縄本島地方は前線の影響を受ける。



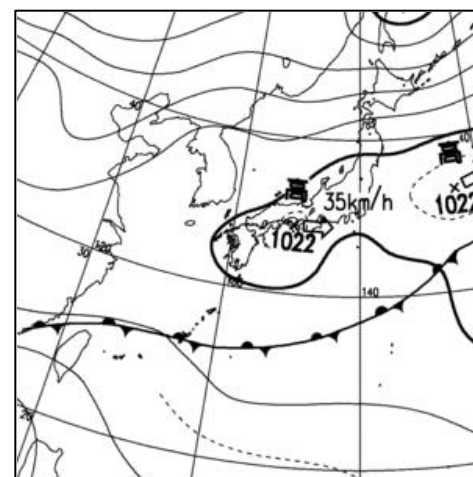
5月13日

高気圧の範囲内となる。夜は前線の影響を受ける。



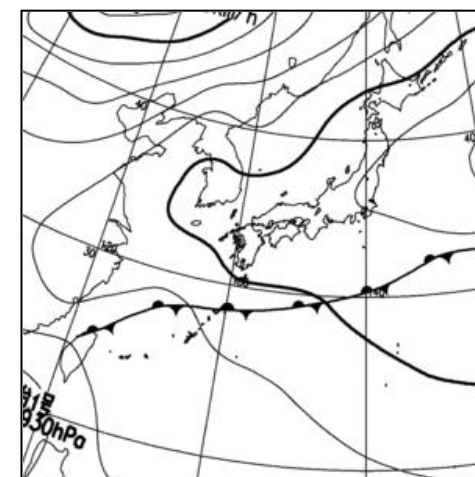
5月14日

梅雨前線の影響を受ける。



5月15日

梅雨前線の影響を受ける。

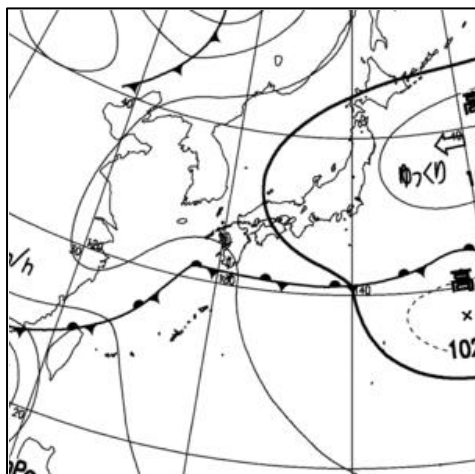


5月16日

梅雨前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧の範囲内となる。

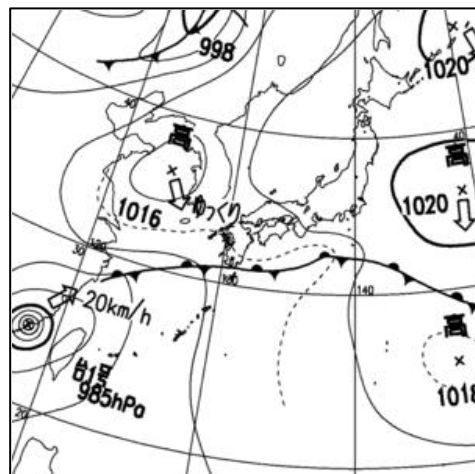
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2006年5月17日～5月24日



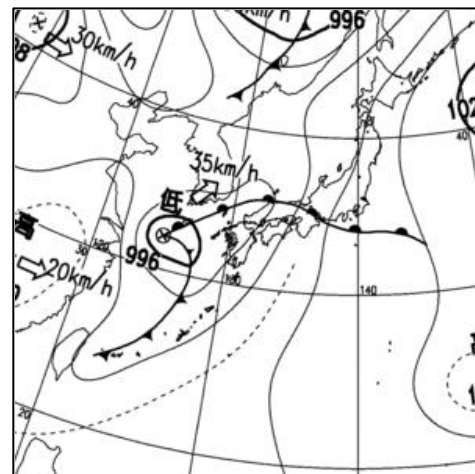
5月17日

高気圧の範囲内となる。与那国島地方は梅雨前線の影響を受ける。



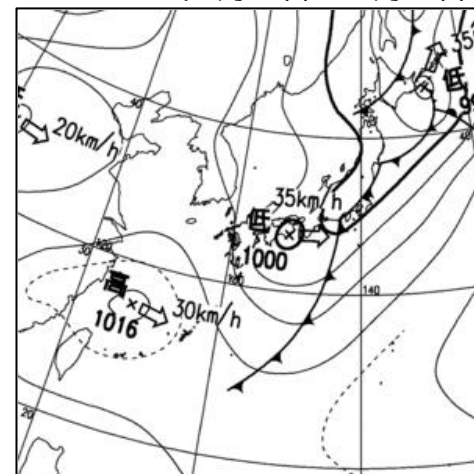
5月18日

高気圧の範囲内となる。八重山地方は台風第1号の影響を受ける。



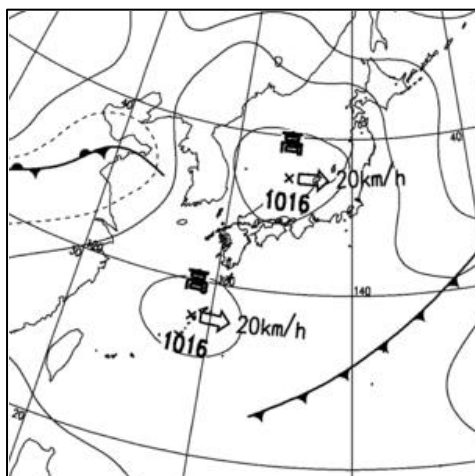
5月19日

梅雨前線の影響を受ける。



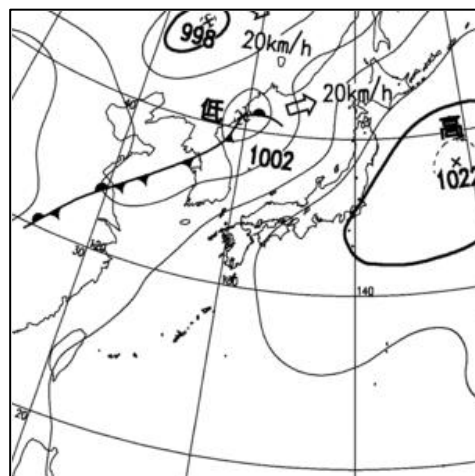
5月20日

高気圧の範囲内となる。



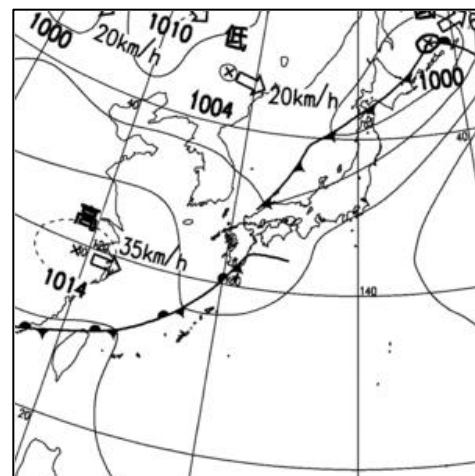
5月21日

高気圧の範囲内となる。八重山地方は高気圧のへりにあたる。



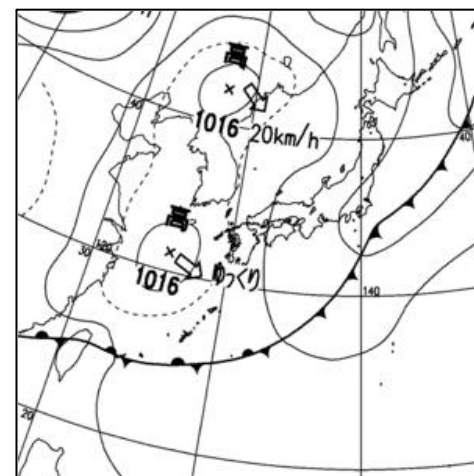
5月22日

高気圧の範囲内となる。



5月23日

梅雨前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧の範囲内となる。

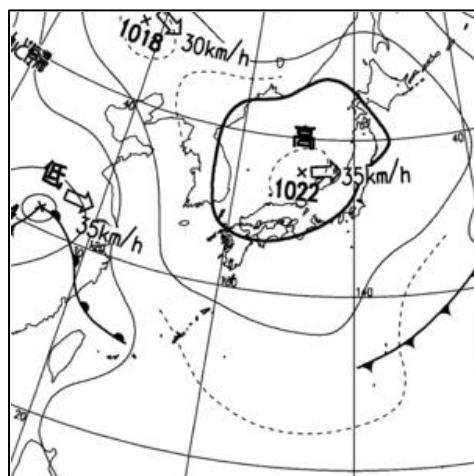


5月24日

梅雨前線の影響を受ける。

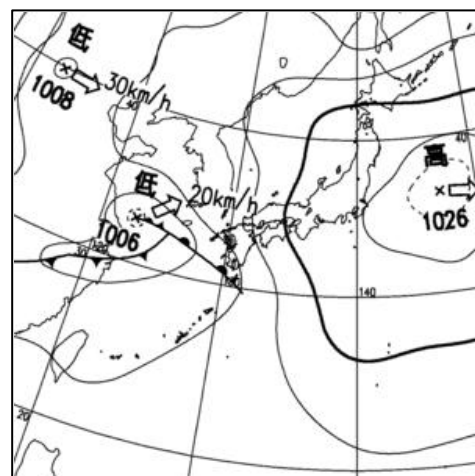
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2006年5月25日～5月31日



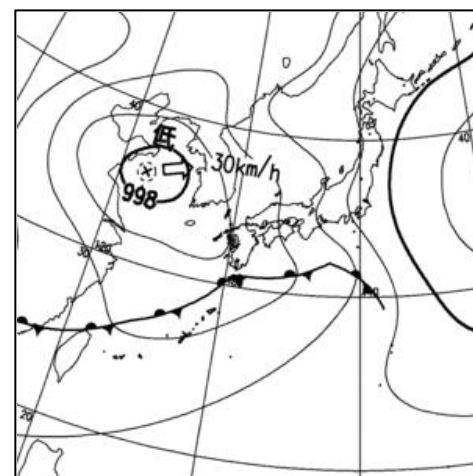
5月25日

梅雨前線の影響を受ける。



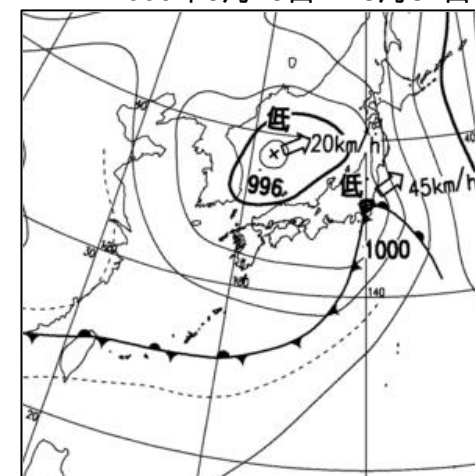
5月26日

梅雨前線の影響を受ける。先島諸島は高気圧の範囲内となる。



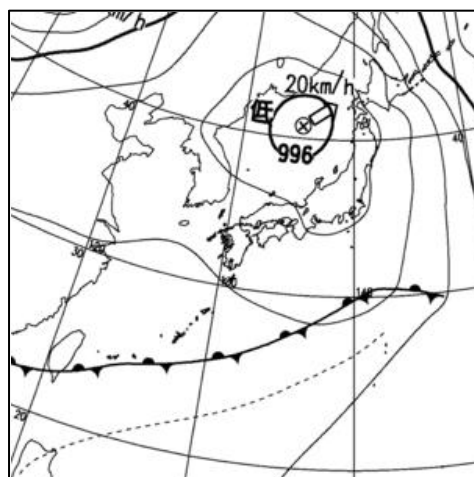
5月27日

梅雨前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧の範囲内となる。



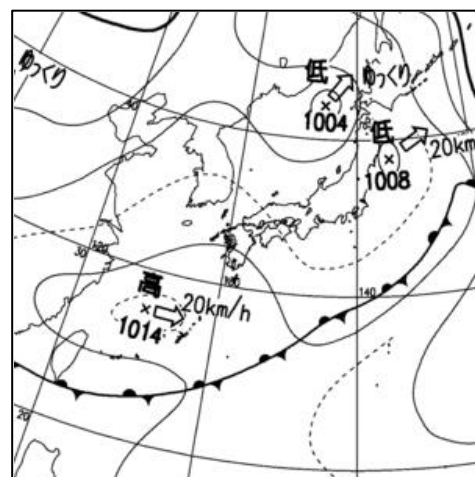
5月28日

梅雨前線の影響を受ける。



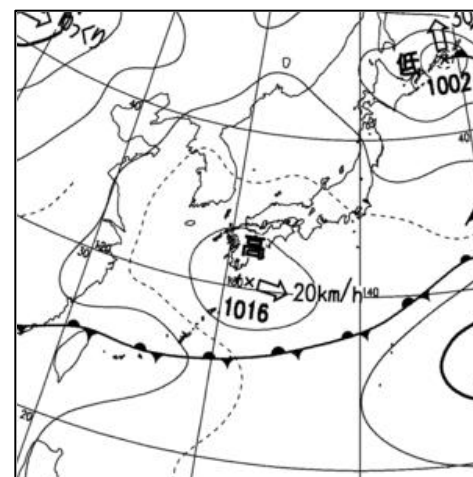
5月29日

梅雨前線の影響を受ける。



5月30日

梅雨前線の影響を受ける。

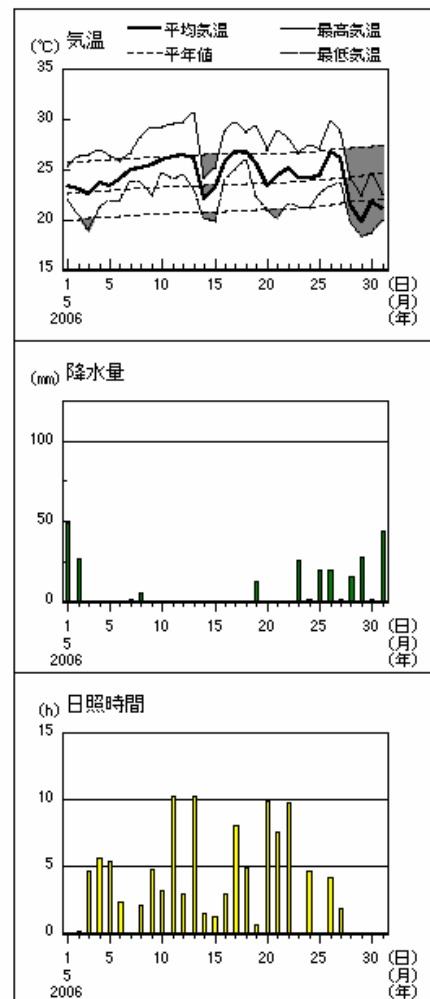


5月31日

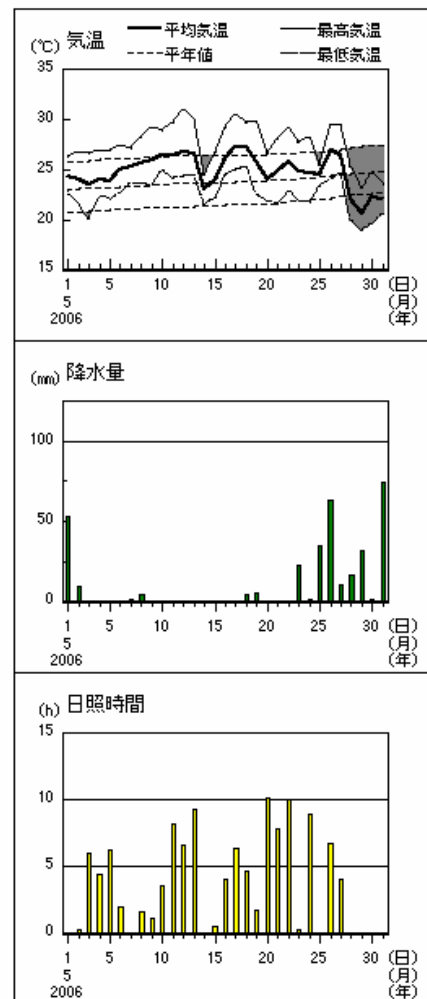
梅雨前線の影響を受ける。

地上気象：2006年5月1日-2006年5月31日

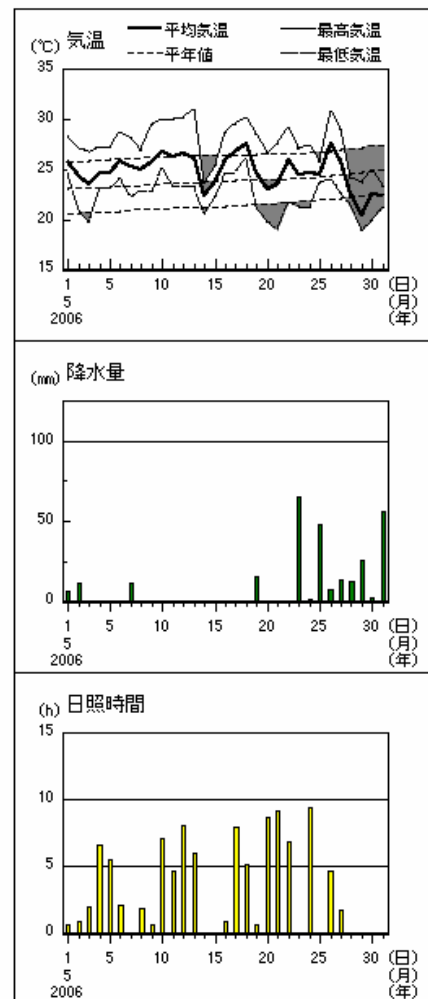
名護



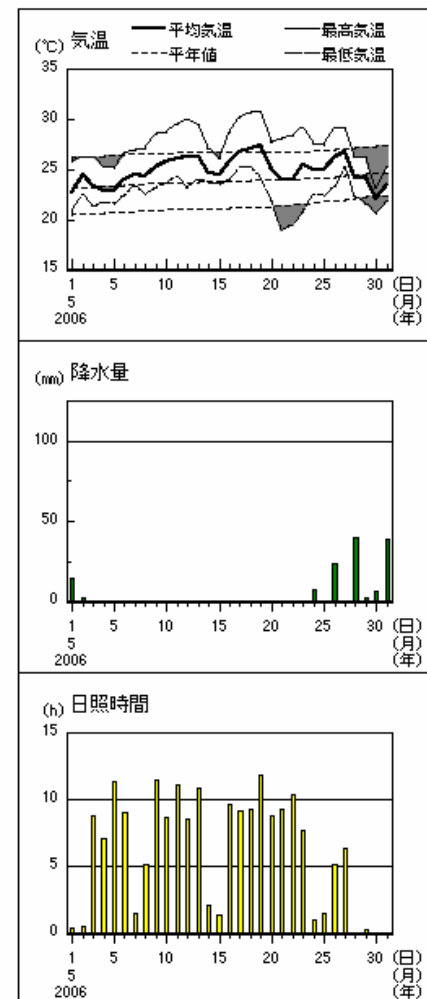
那覇



久米島

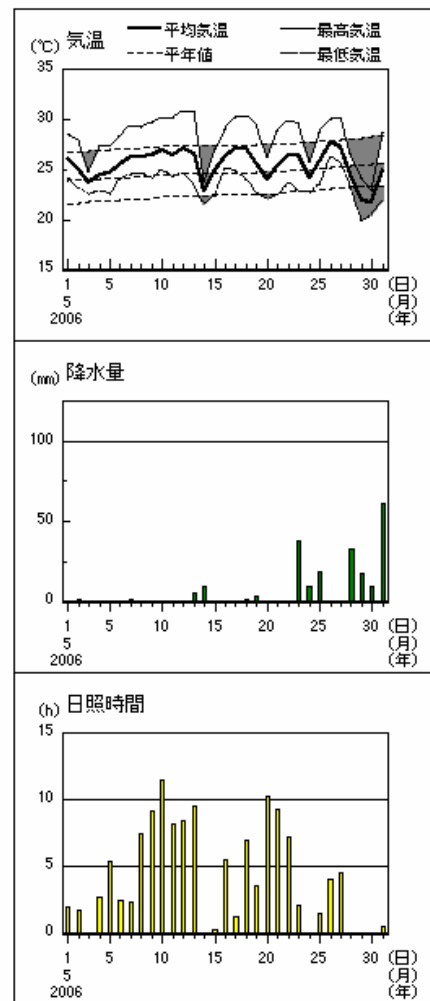


南大東島

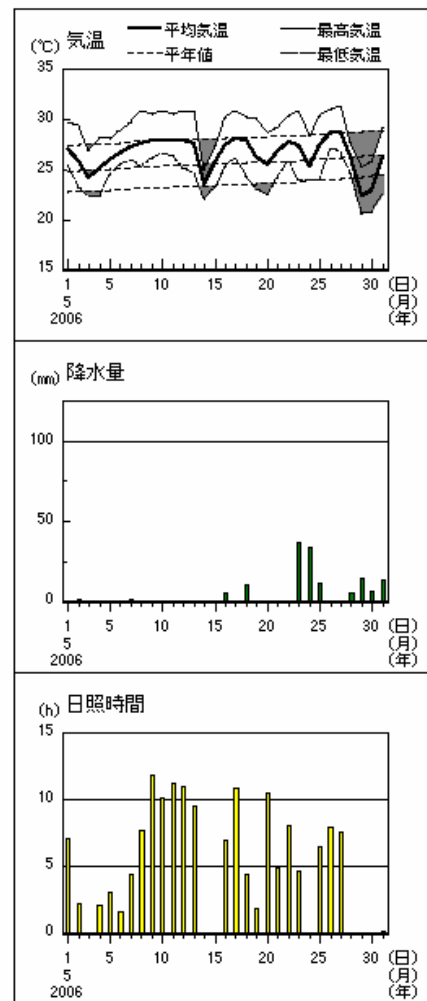


地上気象：2006年5月1日-2006年5月31日

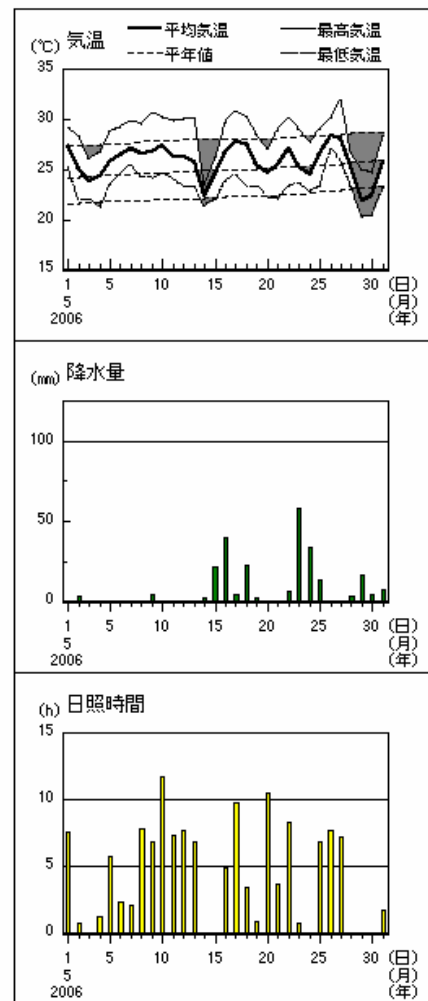
宮古島



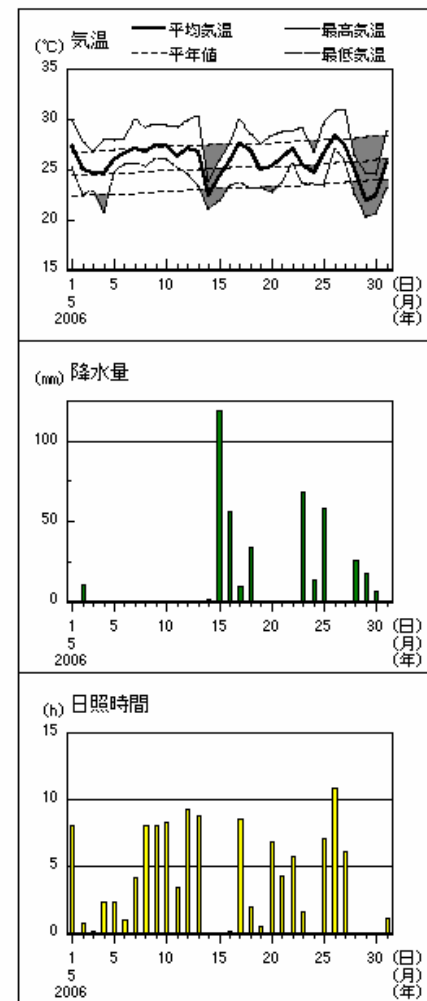
石垣島

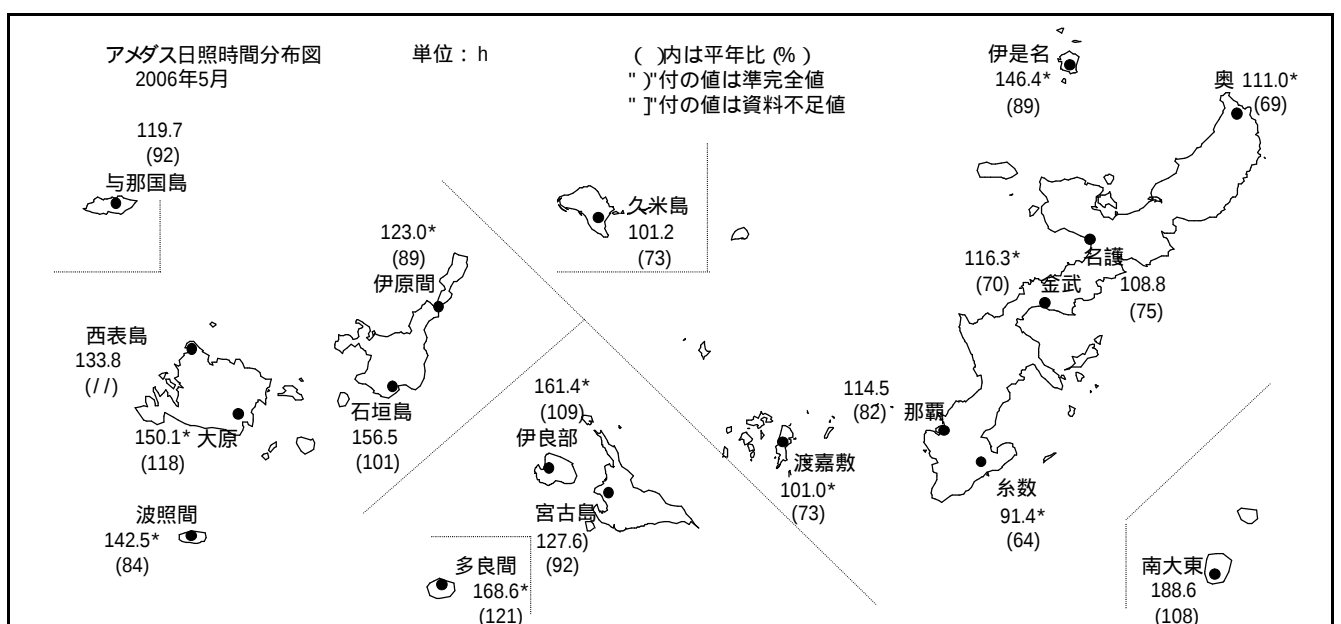
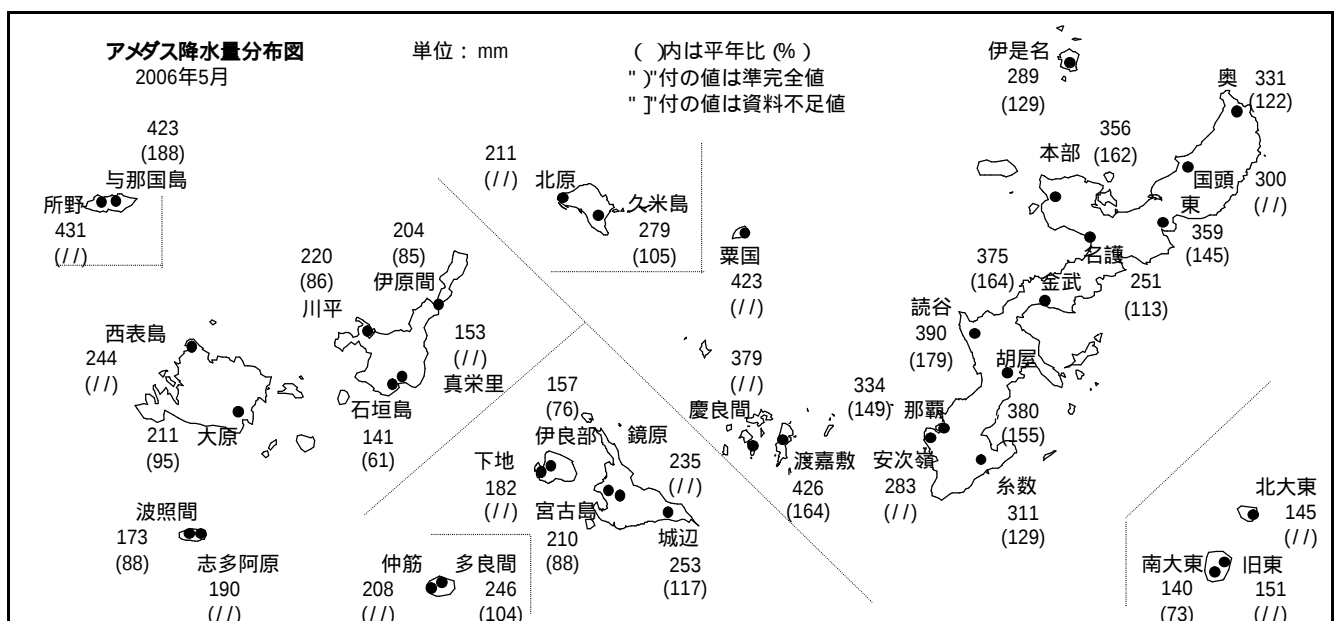
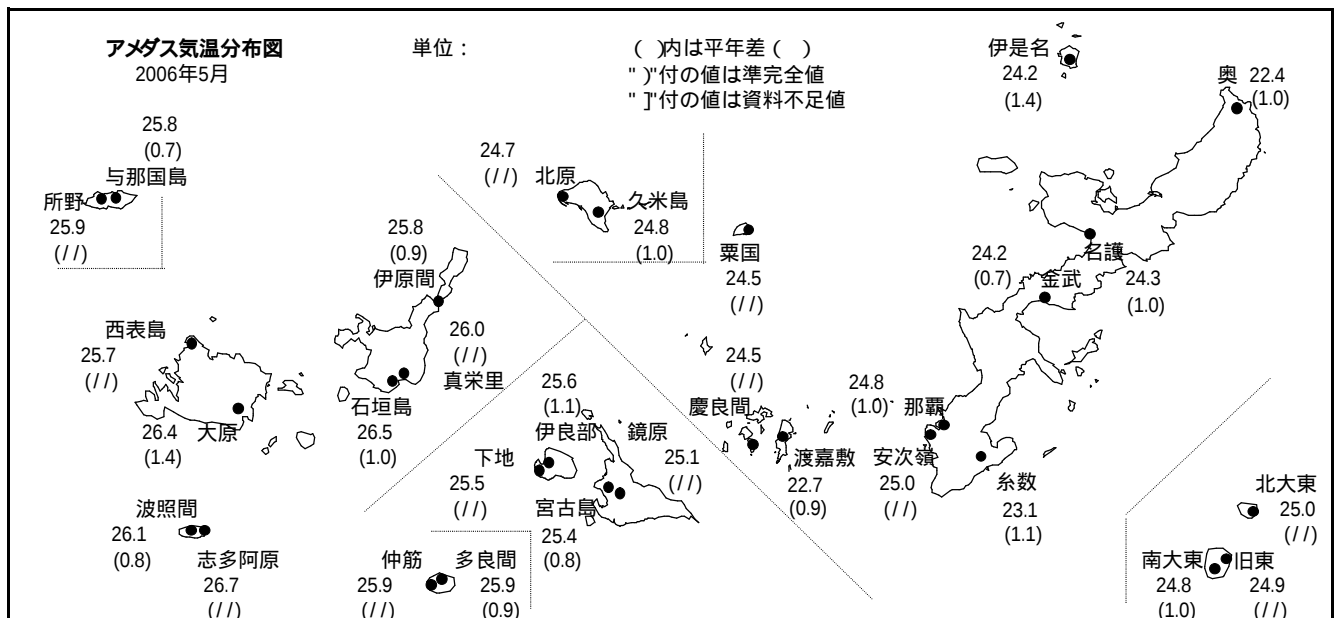


西表島



与那国島





- ・アメダス値は統計期間が短いため、気象官署の平年差 (比) と異なることがあります。
- ・統計期間が短いため、平年値が無い地点があります。
- ・日照時間は日照計の種類により差が生じるため、気象官署とアメダスのデータを比較する際にはアメダスのデータを換算して比較する必要があります。なお、詳細は「2006年4月沖縄地方の天候」末尾の【参考資料】をご覧ください。
(*付の値は太陽電池式日照計使用地点で、換算値を掲載しております。)

極値・順位値更新表

2006年5月

官署名	要素	更新した値	観測日(月)	順位	従来極値(観測日・月)	
名護	日最低気温の高い方から	25.9	2006年5月18日	1	25.8	1998年5月12日

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載します。

生物季節観測表

2006年5月

観測場所	種 別 （代替種目）	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日	平年差		
(1) 植物								
南大東島	サルスベリ	開花	5月24日	5月28日	6月30日	-4	4月22日	6月30日
(2) 動物								
那覇	クサゼミ（イワサキクサゼミ）	初鳴	5月6日	4月28日	4月26日	+8	4月15日	7月2日
那覇	ホタル（クロイワボタル）	初見	5月8日	5月12日	4月26日	-4	4月18日	6月13日
那覇	シオカラトンボ（オオシオカラトンボ）	初見	5月9日	5月29日	5月6日	-20	4月20日	8月13日
宮古島	クマゼミ（リュウキュウクマゼミ）	初鳴	5月22日	5月29日	6月2日	-7	4月25日	6月19日

注1：平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示します。